

講演

講演者 アイリッシュハーブ奏者 永山 友美子 氏

講演テーマ「愛と優しさで人は育つ」

1 永山友美子氏 プロフィール

オペレッタ作家・指導者・アイリッシュハーブ演奏、埼玉純真短期大学客員教授。

ボランティアでのアイリッシュハーブの演奏・講演を続けてきた功績により青島幸男東京都知事より感謝状を受ける。また、タイ王国ガラヤニー王女殿下午餐会にて演奏するなど多方面で活動。

現在は自宅にて音楽教室を主宰するほか、全国各地の学校、病院、障がい者施設、高齢者施設等で演奏・講演を行っている。

2 アイリッシュハーブについて

アイリッシュハーブは、アイルランドで発展した比較的小型な軽量ハーブ。足元のペダルではなく弦の各々についているレバーを手動で操作して半音を調整する。素朴で優しい音色が特徴。アイルランドの伝統音楽の他、ヒーリング音楽、クラシック、ジャズなど幅広いジャンルで演奏される。大きさは140～160cm台のものから100cm未満のものまで種類が豊富。

3 講演の概要

講演は、自身のこと、演奏・講演活動でのエピソード、アイリッシュハーブについて笑いと涙を交えて語り、アイリッシュハーブの演奏を交えながら、「夢」「愛情」「感謝の心を伝える」「家庭」「家族」「命」などの大切さを伝えるものでした。

4 講演内容 (【 】はハーブ演奏曲)

夢を見つけたら少し努力をしてください。夢は自分でつかむもの、子供に押し付けるものでは

なく自分自身でかなえてください。

あなたの心の中にある美しい思いを美しい言葉に乗せて相手に伝えてください。いっぱいほめてあげてください。ちゃんとほめるということはちゃんと叱るということと同じ根っこ。どうぞ真剣に向き合ってください。

【スコットランドの釣鐘草】

正しいことを正しいと言うことはとても勇気のいることです。皆さんのお子さんはそれを毎日やっているのです。とても勇気のいることで、これがわかっただけでも今日は儲けものです。

【埴生の宿】

どんな粗末なところでも我が家が一番であるというのがこの曲です。

【赤とんぼ】、【秋桜（コスモス）】

音楽は万人に伝わるもの。人間は幸せになるために生まれてきたんですよ。泣いたり笑ったり当たり前の感情表現ができる我々は幸せです。あなたの大切な人はちゃんと泣いて怒っていますか。わが子の良いところ悪いところをそっくりそのまま受け入れるのはそんなに難しいことでしょうか。

【千の風になって】

大好きな人がいたら自分も大好きになれる。今を大切に、あなたがどんなに好きになっても必ずお別れがくるのですから。私たちは子どもたちを正しく導く責任がある。愛情は金と物で買えません。

【涙そうそう】

伝えるとは自分の心から相手の心にちゃんと届けること。子どもは親のいう通りには育ちません。あなたのする通りに育ちます。

最後に、葉祥明さんの「母親というものは」の朗読で締めくくられました。

「母親というものは」

母親というものは 無欲なものです 我が子がどんなに偉くなるよりも どんなにお金持ちになるよりも 毎日元気でいてくれることを 心の底から願います どんな高価な贈り物より 我が子の優しいひと言で 十分過ぎる程幸せになれる母親というものは 実に本当に無欲なものです だから 母親を泣かすのは この世で一番いけないことなのです

5 まとめ

会場の参加者の多くが涙を流し、心が洗われ、忙しい毎日で忘れがちになっているけれども、本当は一番大切なことを取り戻すことができた、素晴らしい講演でした。

地区大会が終わっても余韻が続き、参加者のすがすがしい笑顔が印象的でした。